

営農情報システム  
ISEKI アグリサポート  
データ一元管理 Excel  
**取扱説明書**

Ver. 2.20

井関農機株式会社

## 目次

第 1 章.	はじめに .....	1
1. 1.	一元管理 Excel の概要 .....	1
1. 2.	動作環境 .....	1
1. 3.	一元管理 Excel のご利用について .....	1
第 2 章.	一元管理 Excel の使用方法 .....	3
2. 1.	端末の接続 .....	3
2. 2.	一元管理 Excel の起動 .....	3
2. 3.	ドライブ指定 .....	4
2. 4.	”ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。”の設定 .....	5
2. 5.	データの読み込み .....	6
第 3 章.	自動生成される各シートについて .....	7
3. 1.	機械情報シート .....	7
3. 2.	作業実績シート .....	8
3. 2. 1.	表示更新機能 .....	12
3. 2. 2.	表示項目設定 .....	15
3. 2. 3.	項目の簡易表示 .....	16
3. 2. 4.	メモ機能 .....	17
3. 2. 5.	地図表示 .....	18
第 4 章.	トラブルシューティング .....	19
4. 1.	ドライブ指定のリストに端末が表示されない .....	19
4. 1. 1.	デバイス更新 .....	19
4. 1. 2.	端末側の設定変更 .....	19
4. 1. 2. 1.	USB デバッグモードを無効にする .....	19
4. 1. 2. 2.	USB 接続モードを変更する .....	20
4. 1. 2. 3.	端末の再起動 .....	20
4. 1. 2. 4.	USB ケーブル・USB ポートの確認 .....	20
4. 1. 3.	アグリサポートデータの手動コピー .....	20
4. 2.	マクロの警告が表示される際の対処方法 .....	25
4. 2. 1.	Office2003 (Excel2003) までのバージョンをご使用の場合 .....	26
4. 2. 2.	Office2007 (Excel2007) 以降のバージョンをご使用の場合 .....	28
4. 3.	デスクトップにアイコンが表示されない場合 .....	33
4. 4.	アグリサポートと一元管理 Excel のデータが異なる場合 .....	33
第 5 章.	パソコンと端末を新規にご購入された場合 .....	35
5. 1.	データの移行 .....	35

## 第1章. はじめに

本説明書はアグリサポート・データ一元管理 Excel（以下、一元管理 Excel）の機能、設定方法について説明します。

### 1.1. 一元管理 Excel の概要

一元管理 Excel は、アグリサポートシステム（Android 版）で収集したデータ（以下、アグリサポートデータ）を一元管理するツールです。

※アグリサポートシステム（Android 版）は、農業機械の作業履歴や作業分析を収集し、お客様の農業経営を支援するための Android アプリケーションです。

### 1.2. 動作環境

Microsoft Windows 7 以上推奨

Microsoft Office 2003/2007/2010/2013 推奨

### 1.3. 一元管理 Excel のご利用について

一元管理 Excel（以下、本ツール）は、井関農機株式会社（以下、当社）が、当社アグリサポート対応農業機械を使用されるお客様を対象とし、Windows パソコン向けに公開しているツールです。

本ツールは、当社ホームページよりダウンロードして使用することができます。

以下の事項（以下、本事項）は、本ツールのご利用にあたり、そのご利用条件を定めるものであり、本ツールは、本事項を確認し、同意いただいたうえでご利用ください。

#### ■免責事項

- ・本ツールのダウンロードおよびご利用については、お客様ご自身の責任において行われるものとします。
- ・本ツールのご利用をもって、本事項に同意いただいたものとみなします。
- ・当社は、本ツールのご利用にあたり、当社の責に帰すことができない事由により生じた損害について、一切の責任を負いません。
- ・本ツールの内容・情報等は、予告なく変更されることがあります。
- ・本事項は、当社の判断により、内容を変更させて頂く場合があります。

■著作権

- ・本ツールに関わる著作権、商標権その他の一切の知的財産権は、当社に帰属します。
- ・本ツールの内容を無断で転載・複写等を行う事を禁止します。

■解析・改変等

- ・本ツールを解析・改変等を行う事を禁止します。解析・改変等により、何らかの欠陥が生じたとしても、当社では一切の保証をいたしません。また、解析・改変等の結果、万一お客様に損害が生じたとしても当社は責任を負いません。

## 第2章. 一元管理 Excel の使用方法


Android 端末（以下、端末）からパソコンへアグリサポートデータを取り込む方法について説明します。

### 2.1. 端末の接続

一元管理 Excel を起動する前に、端末を USB ケーブルでパソコンに接続します。

※ 端末とパソコンの接続方法については、端末の説明書もしくは端末の販売店様等へご確認ください。

### 2.2. 一元管理 Excel の起動

デスクトップにある「 2-1 一元管理 Excel のショートカットアイコン」をダブルクリックすると一元管理 Excel が起動します。

※ デスクトップにアイコンが表示されていない場合は、「4.3 デスクトップにアイコンが表示されない場合」を参照してください。



図 2-1 一元管理 Excel のショートカットアイコン

### 2.3. ドライブ指定

ドライブ指定のセレクトリストから、アグリサポートデータを取り込む端末を選択してください。

※ セレクトリストに端末が表示されていない場合は、「4.1 ドライブ指定のリストに端末が表示されない」を参照してください。

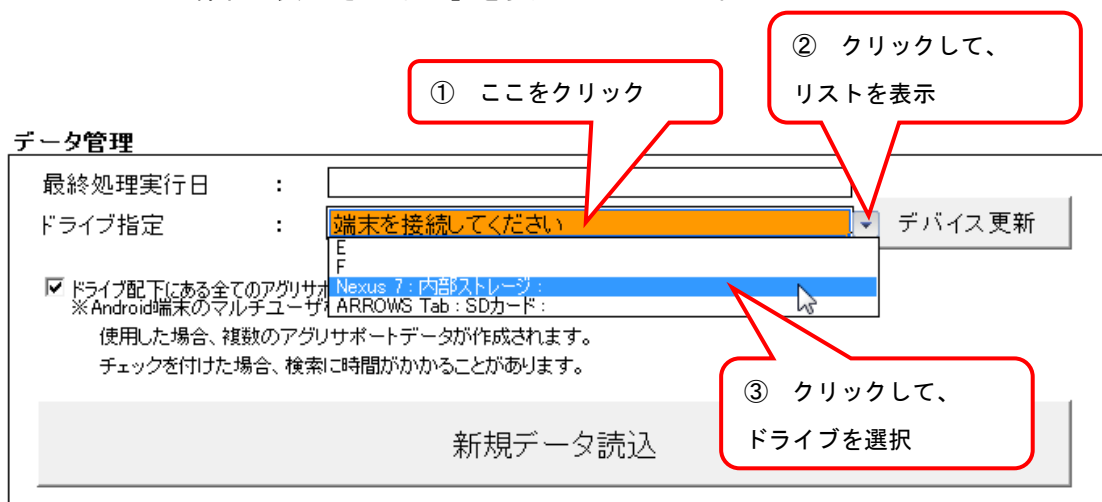


図 2-2 セレクトリストでのドライブ選択

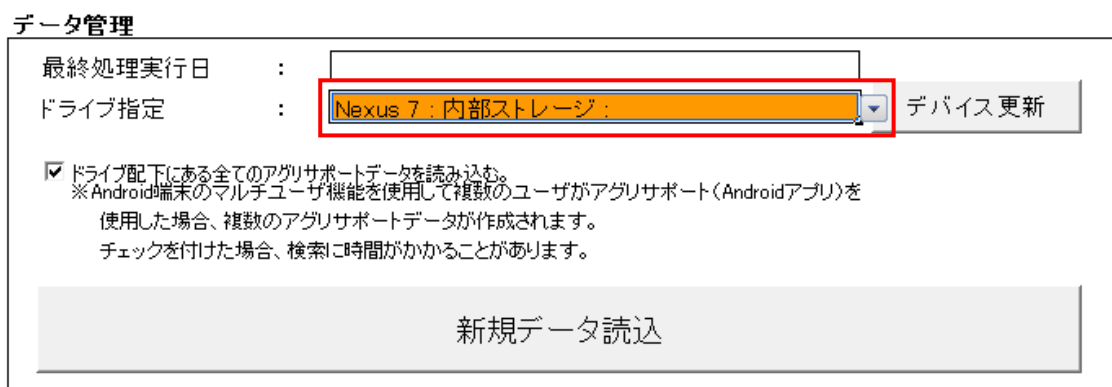


図 2-3 ドライブリスト選択後

## 2.4. ”ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。”の設定

必要に応じて、”ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。”にチェックを付けてください。

※端末のマルチユーザ機能を使用してアグリサポートを使用した場合、端末内に複数のアグリサポートデータが作成される場合があります。これら複数のアグリサポートデータを読み込む場合は、”ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。”にチェックを付けてください。  
複数のユーザを作成されていない端末、または、マルチユーザ機能を有しない端末をご使用の場合は、チェックを付ける必要はありません。

※端末の仕様によっては選択中のユーザのアグリサポートデータしか参照出来ない場合がございます。  
その場合は端末側で各ユーザを選択の上で、ドライブを指定してください。

※マルチユーザ機能の詳細については、端末の説明書もしくは端末の販売店様等へご確認ください。

※チェックを付けた場合、検索に時間がかかることがあります。

データ管理

最終処理実行日	:	<input type="text"/>
ドライブ指定	:	<span>Nexus 7 : 内部ストレージ</span> <input type="button" value="デバイス更新"/>

ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。  
※Android端末のマルチユーザ機能を使用して複数のユーザがアグリサポート(Androidアプリ)を使用した場合、複数のアグリサポートデータが作成されます。  
チェックを付けた場合、検索に時間がかかることがあります。

新規データ読込

図 2-4 ”ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。”の設定

## 2.5. データの読み込み

”新規データ読込”ボタンをクリックしてください。

データ管理

最終処理実行日	:	<input type="text"/>	
ドライブ指定	:	<input type="text" value="Nexus 7 : 内部ストレージ"/>	<input type="button" value="デバイス更新"/>

ドライブ配下にある全てのアグリサポートデータを読み込む。  
※Android端末のマルチユーザー機能を使用して複数のユーザーがアグリサポート(Androidアプリ)を使用した場合、複数のアグリサポートデータが作成されます。  
チェックを付けた場合、検索に時間がかかることがあります。

新規データ読込

図 2-5 新規データ読込

正常にアグリサポートデータの読み込みが完了した場合、「機械情報」シートが表示されます。

以上でアグリサポートデータの読み込み操作は終了です。



アグリサポートデータが存在しないドライブを選択した場合、下記のような警告ダイアログが表示されます。  
別のドライブを指定して、再度”新規データ読込”ボタンをクリックしてください。

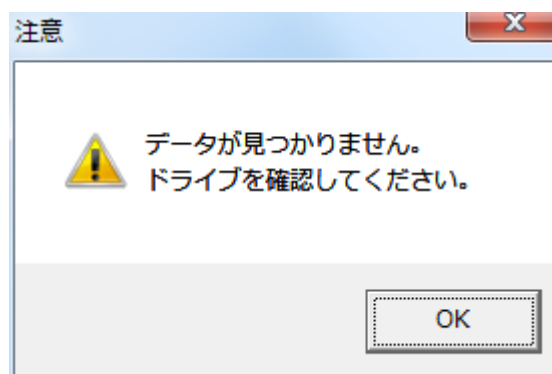


図 2-6 ドライブ指定警告ダイアログ



### 第3章. 自動生成される各シートについて

一元管理 Excel は端末から読み込んだアグリサポートデータを基に、「機械情報」シートと「作業実績」シートを作成します。



一度端末からアグリサポートデータを読み込むと、  
端末側で削除しても一元管理 Excel 内では表示され続けます。

#### 3.1. 機械情報シート

 <p>TRACTOR トラクタ</p>	車両名	トラクター01
	機種型式	HJ6123GT-CAPLW
	製造番号	P3333333
	所有者	所有者3
	購入日	2014/03/01
	購入店舗	東京
	店舗連絡先TEL	0333333333
	店舗連絡先FAX	0333333332
	店舗連絡先MAIL	mail3@tokyo.co.jp
	アワメータ	5h
	作業時間	5h
	最終データ更新日	2014/03/07
 <p>COMBINE コンバイン</p>	車両名	コンバイン02
	機種型式	HJ6123GT-CAPLW
	製造番号	P2222222
	所有者	所有者2
	購入日	2014/02/01
	購入店舗	北海道
	店舗連絡先TEL	1111111111
	店舗連絡先FAX	1111111112
	店舗連絡先MAIL	mail2@hokkaido.co.jp
	アワメータ	111h
作業時間	10h	
最終データ更新日	2014/03/06	
	車両名	コンバイン01
	機種型式	HJ7123G-ZCAPLHWK
	製造番号	P1111111
	所有者	所有者1

図 3-1 機械情報シート

- ・一度も機械と連携していない機械のアグリサポートデータは取り込めません。
- ・機械情報は、端末からアグリサポートデータを読み込む度に、端末に登録されている情報で上書きされます。
- ・複数の端末に異なる情報が入力されている場合、最後に読み込んだ端末の情報が表示されます。ただし、下記項目については、値を上書きする前に値の比較を行い、条件に一致する場合のみ上書きを行います。
  - アワメータ : アグリサポートデータのアワメータが、読み込み前のアワメータより大きい場合、上書きします。乗用管理機では表示されません。
  - 使用時間 : 乗用管理機のみで表示されます。機械ごとの使用時間で上書きします。
  - 最終データ更新日 : 機械ごとの作業実績の中で直近の作業日で上書きします。



## (1) 作業実績シート

### <圃場名について>

圃場名には、各端末で作業実績毎に設定されている圃場名を表示します。実際は同じ圃場でも、端末で異なる圃場名を設定した場合、絞り込み機能等で別の圃場として扱われます。

### <車両名について>

一元管理 Excel では、各農業機械を Bluetooth ID で区別している為、各端末で異なる車両名を設定した場合でも、最後に読み込んだ端末に設定されている車両名に変更されます。

実際は異なる農業機械でも、端末で同じ車両名を設定した場合、絞り込み機能等で同じ農業機械として扱われます。

### <肥料、薬剤、資材について>

アグリサポートが最新版（バージョン 4.0.1）以降でない時に記録された実績データが存在する場合、肥料、薬剤、資材の情報が本来と異なる場所に表示されます。

アグリサポートバージョン 2.X.X で取得したトラクタの実績データに登録した肥料、薬剤、資材は肥料 1 に表示されます。

アグリサポートバージョン 3.X.X で取得したトラクタの実績データに登録した肥料、薬剤、資材の内、肥料マスターに登録されている肥料は肥料 1 に、それ以外は資材 1 に表示されます。

アグリサポートバージョン 3.X.X で取得した田植機の実績データに登録した肥料、薬剤、資材の内、肥料マスターに登録されている肥料は肥料 1 に、それ以外は資材 1、資材 2 に表示されます。

### <減肥率、比重、減肥量、苗使用枚数、備考、画像表示について>

アグリサポート (Ver. 4.1.0), 可変施肥 (Ver. 2.1.0) 以降から、可変施肥の設定値およびメモ入力内容を表示します。

また、作業実績シートの画像表示をクリックすると可変施肥シートに、減肥率、SFV、作土深のマッピング画像を表示します。



減肥率 (%)

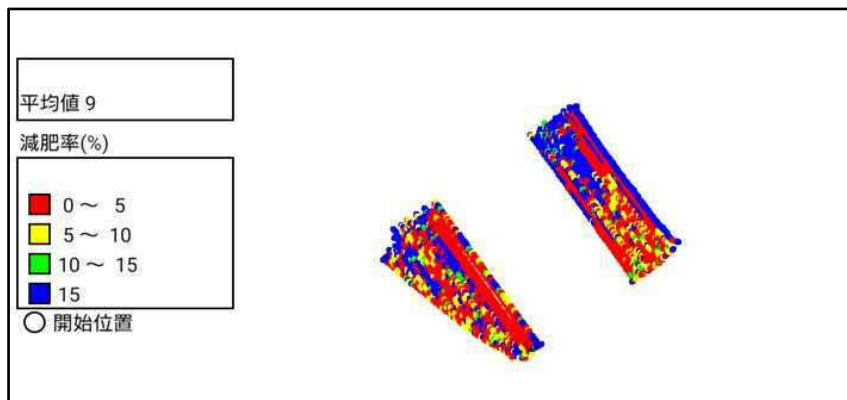


図 3-6 減肥率のマッピング画像(例)

SFV (mS/cm)

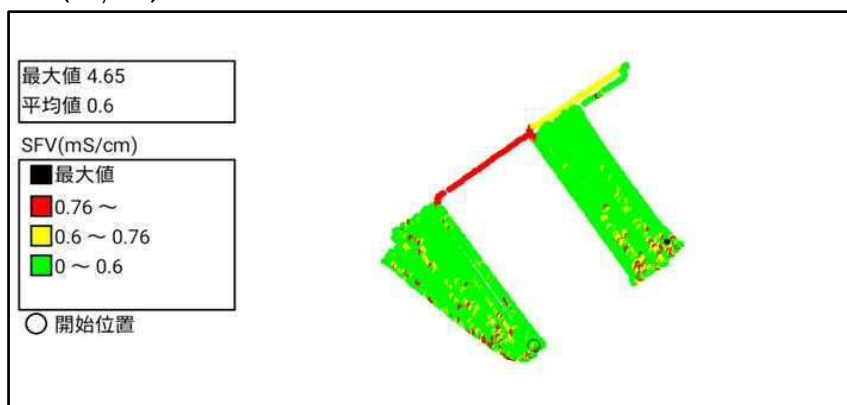


図 3-7 SFVのマッピング画像(例)

作土深 (cm)

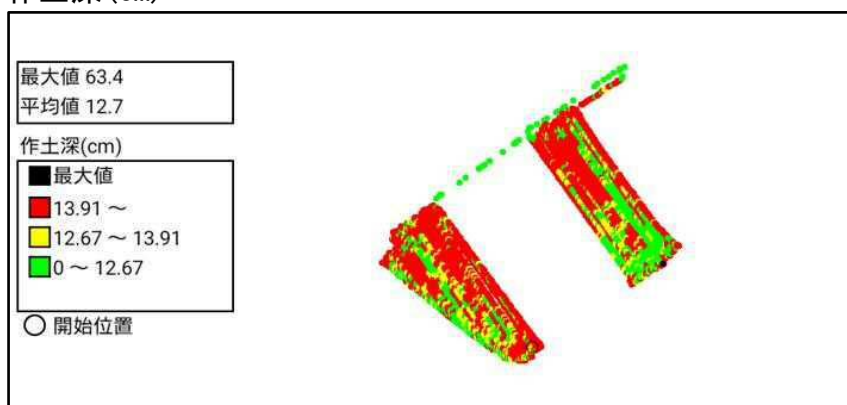


図 3-8 作土深のマッピング画像(例)

### 3.2.1. 表示更新機能

#### (1) 作業実績シート(乾燥機以外の場合)

##### 表示設定

作業期間:	2014	年	3	月	6	日
~	2014	年	3	月	26	日
圃場名 :	全圃場					
車両名 :	全機械					
並び順 :	日付優先					表示更新

図 3-9 表示設定

「作業期間」、「圃場名」、「車両名」毎に絞り込みが行えます。  
また、「日付優先」、「圃場優先」、「機械優先」で並び替えも行えます。  
リストから各項目を選択後に ”表示更新” ボタンをクリックすることで、設定が反映されます。

##### 表示設定

作業期間:	2014	年	3	月	6	日
~	2014	年	3	月	26	日
圃場名 :	全圃場					
車両名 :	全機械					
並び順 :	日付優先					表示

5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12

図 3-10 作業期間による絞り込み

### 表示設定

作業期間:	2014	年	3	月	6	日
~	2014	年	3	月	26	日
圃場名 :	全圃場					
車両名 :	全機械					
並び順 :	日付優先					
	日付優先					
	圃場優先					
	機械優先					

表示更新

図 3-11 並び順の変更

### (2) 作業実績シート(乾燥機)

### 表示設定

作業期間 :	2016	年	8	月	3	日
~	2016	年	8	月	11	日
乾燥機名 :	全機械					
穀物(種類) :	全穀物(種類)					
穀物(品種) :	全穀物(品種)					
所有者 :	全所有者					
並び順 :	乾燥機名優先					

表示更新

---

表示項目設定

図 3-12 表示設定

「作業期間」、「乾燥機名」、「穀物(種類)」、「穀物(品種)」、「所有者」毎に絞り込みが行えます。

また、「乾燥機名優先」、「穀物(種類)優先」、「穀物(品種)優先」で並び替えも行えます。

リストから各項目を選択後に“表示更新”ボタンをクリックすることで、設定が反映されます。

表示設定

作業期間 :	2016	年	8	月	3	日
~	2016	年	8	月	11	日
乾燥機名 :	全機械					
穀物(種類) :	全穀物(種類)					
穀物(品種) :	全穀物(品種)					
所有者 :	全所有者					
並び順 :	乾燥機名優先					

表示更新

---

表示項目設定

図 3-13 作業期間による絞り込み

表示設定

作業期間 :	2016	年	8	月	3	日
~	2016	年	8	月	11	日
乾燥機名 :	全機械					
穀物(種類) :	全穀物(種類)					
穀物(品種) :	全穀物(品種)					
所有者 :	全所有者					
並び順 :	乾燥機名優先					

表示更新

---

表示項目設定

図 3-14 並び順の変更



### 3.2.2. 表示項目設定

#### (1) 作業実績シート

アグリサポート (Ver 4.1.0), 可変施肥 (Ver 2.1.0) 以降から、  
下図 3-15 の表示項目設定画面になっております。

これらの表示項目設定を追加しました。

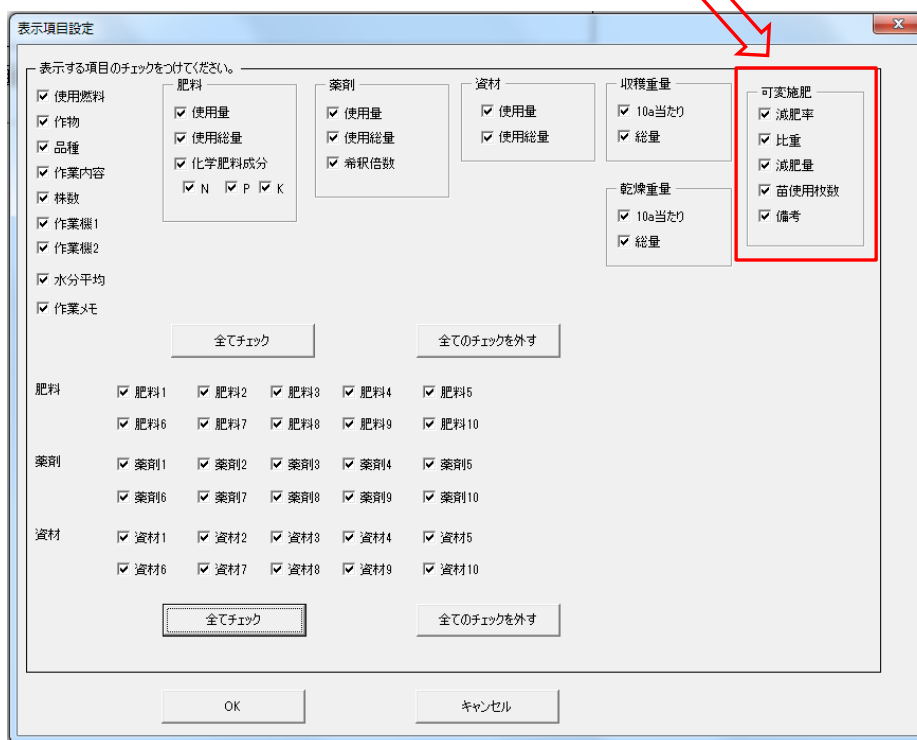


図 3-15 表示項目設定画面

表示項目設定ボタンを押すと上記のダイアログが表示されます。  
表示したい項目にチェックを入れることで、情報を閲覧しやすくなります。  
チェック状態を変更した後、OK ボタンをクリックすることで表に反映されます。  
データの取り込み時、「肥料 1～10」、「薬剤 1～10」、「資材 1～10」の非表示設定となっている項目に、表示する情報が新たに追加される場合、チェック状態は自動的に表示状態に変更されます。

## (2) 作業実績シート(乾燥機)

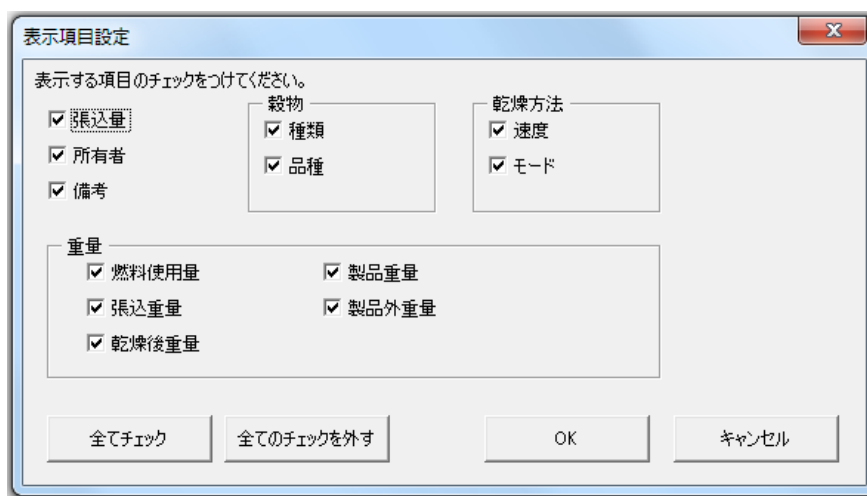


図 3-16 表示項目設定画面

表示項目設定ボタンを押すと上記のダイアログが表示されます。表示したい項目にチェックを入れることで、情報を閲覧しやすくなります。

チェック状態を変更した後、OK ボタンをクリックすることで表に反映されます。

### 3.2.3. 項目の簡易表示

資材1					資材2	
作業機	資材名称	使用量 10a当り	使用総量	単位	作業機	資材名称
作業機1022-3	資材1022-3	11422.0	11522.0		作業機1022-2	資材1022-2
作業機1031-3	資材1031-3	11431.0	11531.0		作業機1031-2	資材1031-2
作業機2022-3	資材2022-3	21422.0	21522.0		作業機2022-2	資材2022-2

図 3-17 項目の簡易表示

作業実績シートの「肥料 1～10」、「薬剤 1～10」、「資材 1～10」の項目部分はボタンになっており、クリックすると作業機・名称のみの簡易表示と使用量なども表示する詳細表示を切り替えることができます。

### 3.2.4. メモ機能

メモ反映	
収穫総量 (kg)	メモ
3000	
5000	
14000	
3000	
25000	

図 3-18 メモ機能

メモ欄に入力後に ”メモ反映” ボタンをクリックしてください。  
下記のダイアログが出ますので、「はい」をクリックしてください。

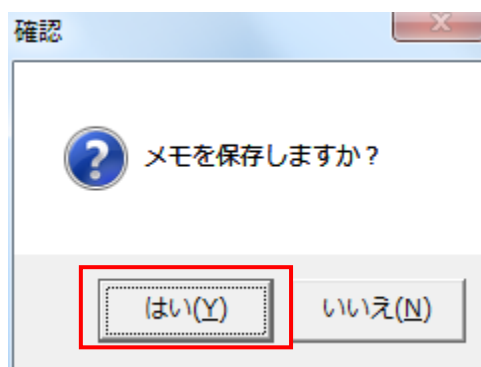


図 3-19 メモ保存確認ダイアログ

以上で、メモが保存されました。

※ メモ保存時、同一機械で作業日付と開始時間が同じ実績が他に存在すると、その実績にもメモ内容が反映されてしまう場合がございます。

### 3.2.5. 地図表示

圃場名 (地図)	車両名	日付	時間			概算 (a)
			開始	終了	経過	
<a href="#">圃場z</a>	JK1	2016/6/14	17:31	17:36	00:04	
<a href="#">圃場v</a>	JK1	2016/6/14	17:39	17:44	00:05	
<a href="#">(未登録)</a>	JK1	2016/6/14	17:46	17:47	00:01	
<a href="#">(未登録)</a>	JK1	2016/6/22	14:57	15:05	00:08	
<a href="#">(未登録)</a>	JK1	2016/6/22	15:12	15:12	00:00	

図 3-20 圃場名のリンク表示

作業実績シートの圃場名をクリックした場合、ブラウザを起動し、下図のように地図上に選択した圃場範囲を表示します。



図 3-21 圃場表示

アグリサポートのデータから圃場範囲を取得できなかった場合、圃場名はリンク表示されません。

地図表示の機能は、インターネットに接続していなければ表示されません。

## 第4章. トラブルシューティング

### 4.1. ドライブ指定のリストに端末が表示されない

#### 4.1.1. デバイス更新

一元管理 Excel 起動後に端末を接続したり、認識されている端末を取り外したりすると、端末が正しく認識されないことがあります。

その場合、” デバイス更新 ” ボタンをクリックして、ドライブ指定のリストを更新してください。

#### データ管理

The screenshot shows a software interface for 'Data Management'. It includes a table with two rows: '最終処理実行日' (Final processing execution date) and 'ドライブ指定' (Drive specification). The 'ドライブ指定' row has a dropdown menu with the text '端末を接続してください' (Please connect the device). To the right of this dropdown is a button labeled 'デバイス更新' (Update device), which is highlighted with a red rectangular box. Below the table, there is a checked checkbox and some explanatory text in Japanese. At the bottom of the interface is a large button labeled '新規データ読込' (Load new data).

図 4-1 デバイスの更新

それでも解決しない場合は、「4.1.2 端末側の設定変更」へ進んでください。

#### 4.1.2. 端末側の設定変更

端末の設定等の影響で端末が認識されないことがあります。

以下の項目について確認ください。

それでも解決しない場合は、「4.1.3 アグリサポートデータの手動コピー」へ進んでください。

※端末によって操作方法や表示内容に差異があります。

操作の詳細な手順につきましては、端末の販売店様かメーカー様にお問い合わせください。

##### 4.1.2.1. USB デバッグモードを無効にする

端末の USB デバッグモードが有効に設定されている場合、USB デバッグモードを無効にしてご確認ください。

#### 4.1.2.2. USB 接続モードを変更する

端末の USB 接続モードが ” カメラ (PTP)” (もしくは” PTP”) に設定されている場合、” カメラ (PTP)” 以外に設定してください。

“メディアデバイス (MTP)” または “ファイル転送モード (MSC)” が設定できる場合は “メディアデバイス (MTP)” または “ファイル転送モード (MSC)” に設定してください。

USB 接続モードが複数ある場合は、各 USB 接続モードに変更してご確認ください。

#### 4.1.2.3. 端末の再起動

端末をパソコンから取り外し、再起動してください。

再起動後、端末を接続しなおしてご確認ください。

#### 4.1.2.4. USB ケーブル・USB ポートの確認

USB ケーブルを抜き差し (端末側、パソコン側の両方) して、ご確認ください。

パソコン側に USB ポート (USB 差込口) が複数ある場合、別の USB ポート (USB 差込口) に差し替えてご確認ください。

#### 4.1.3. アグリサポートデータの手動コピー

端末内に保存されているアグリサポートデータを手動でパソコンにコピーして、読み込みを行います。

※ 「4.1.2 端末側の設定変更」の項目を確認したにもかかわらず、「コンピュータ」 (「マイコンピュータ」) に端末のアイコンが表示されていない、もしくはアイコンが表示されていても保存されているアグリサポートデータが見つからない場合は、端末の販売店様かメーカー様にお問い合わせください。

(画面は Windows 7)

1. 端末より下記のファイルを選択する。

フォルダ：内部ストレージ¥AGRISUPPORT¥management

ファイル：FI\_MACHINE\_MASTER.csv

FI\_WORK\_EXPERIENCE\_DATA.csv

FI\_DRIER\_MACHINE\_MASTER.csv

FI\_DRIER\_WORK\_EXPERIENCE\_DATA.csv

※ 上記ファイルは、基本的に内部ストレージに保存されますが、端末によっては外部ストレージ (SD カード等) に保存されることがあります。

※ 上記ファイルのうち FI\_MACHINE\_MASTER.csv、FI\_WORK\_EXPERIENCE\_DATA.csv はアグリサポート利用時に生成され、FI\_DRIER\_MACHINE\_MASTER.csv、FI\_DRIER\_WORK\_EXPERIENCE\_DATA.csv は乾燥機アグリサポートの利用時に生成されます。そのため片方のアプリだけを利用している場合、表示されないファイルがございます。

※ 上記ファイルが見つからない場合は、Windows の検索機能を使用して上記ファイルを検索してください。

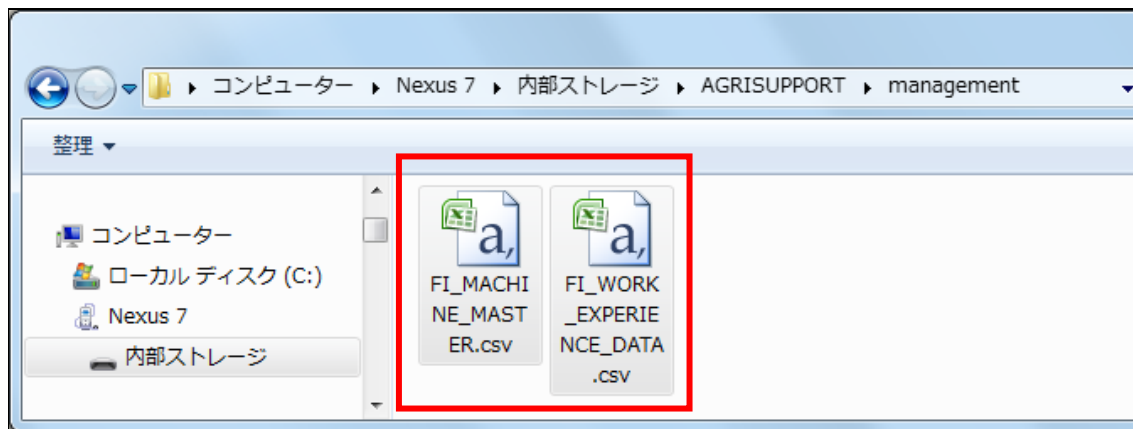


図 4-2 端末内のアグリサポートデータのコピー

2. 選択したファイルを、パソコンの下記の場所にコピーする。  
(「C:¥iseki\_agrisupport¥hand」フォルダ)

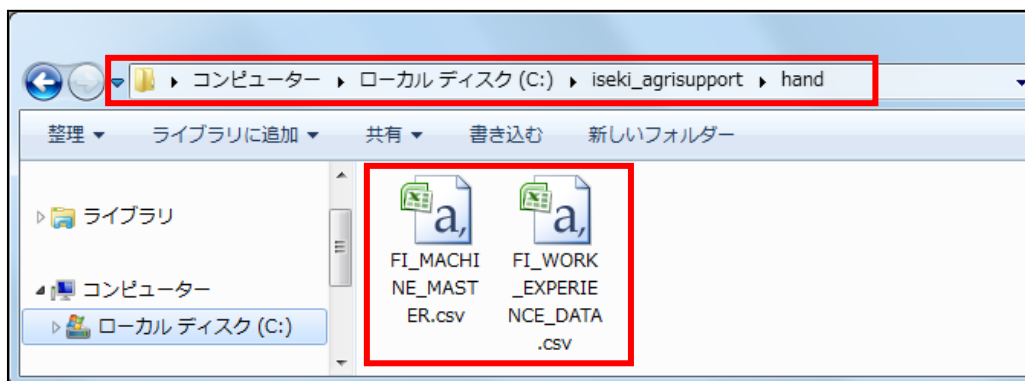


図 4-3 アグリサポートデータの貼り付け

3. 端末より下記のフォルダを選択する。  
フォルダ：内部ストレージ¥AGRISUPPORT

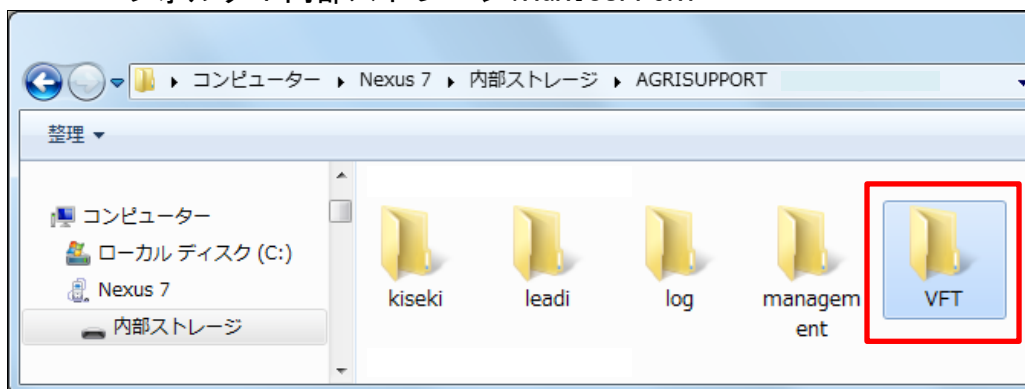


図 4-4 端末内のアグリサポートデータのコピー

4. 選択したフォルダを、パソコンの下記の場所にコピーする。  
(「C:¥iseki\_agrisupport¥hand」フォルダ)

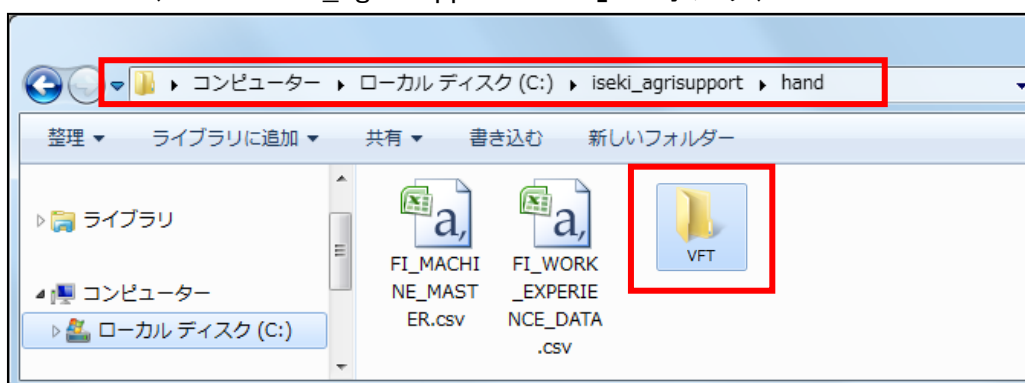


図 4-5 アグリサポートデータの貼り付け



5. 一元管理 Excel の” 新規データ読み込み” ボタンをクリックする。

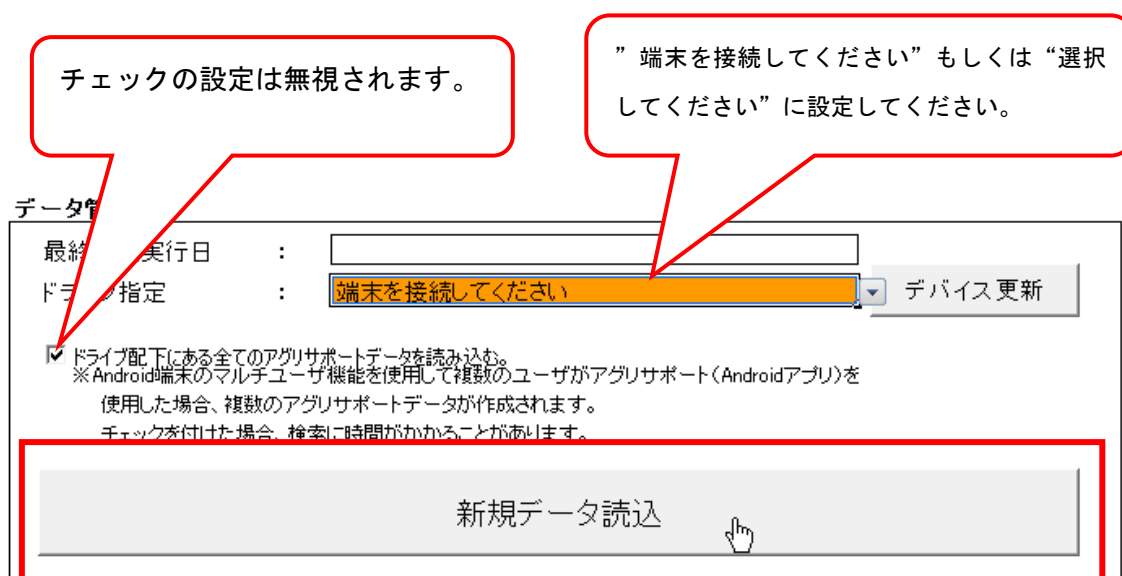


図 4-6 コピーしたアグリサポートデータの読み込み

※ “新規データ読込” をクリックすることでコピーしたデータファイルの内容が読み込まれます。

6. 手順 2. と手順 4. でコピーしたファイル、フォルダを削除する。  
(「C:\¥iseki\_agrisupport¥hand」フォルダ)

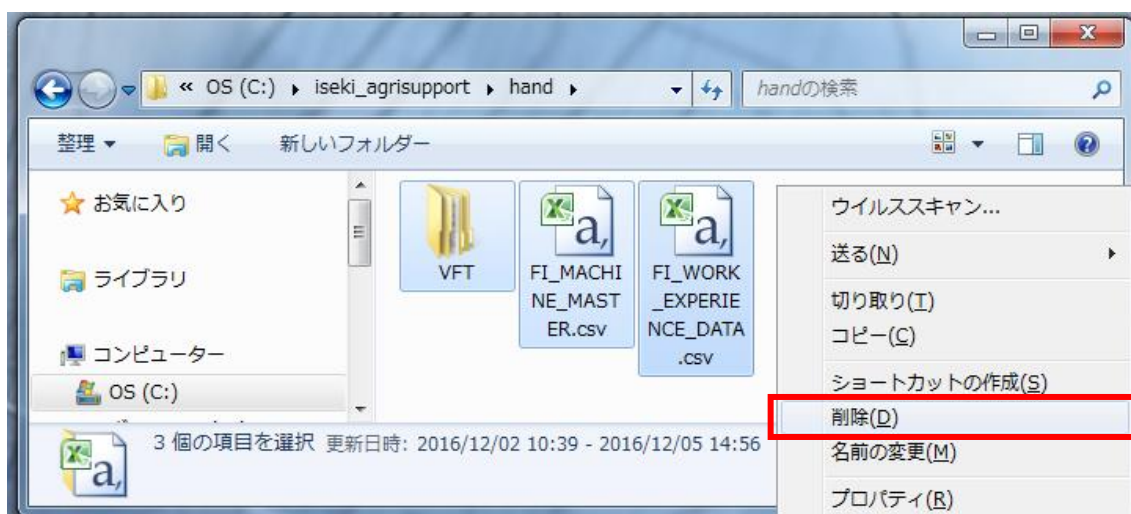


図 4-7 コピーしたアグリサポートデータの削除

## 4.2. マクロの警告が表示される際の対処方法

一元管理 Excel は Excel のマクロ機能を使用しております。

マクロ機能が無効になっている場合、マクロ機能を有効にする必要があります。

- ※ セキュリティレベルの変更は、お客様の責任のもとで変更をお願いします。
- ※ ご不明な点がございましたら、Microsoft 社へご確認ください。
- ※ 画面に下記のような表示が出ている場合、一元管理 Excel は使用できない状況です。

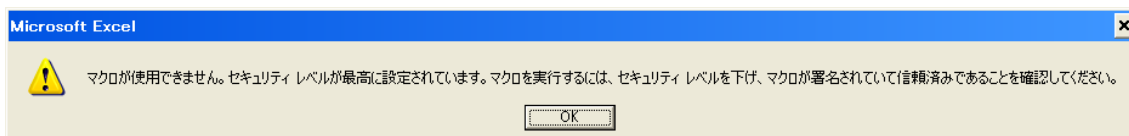


図 4-8 Excel2003 警告（セキュリティレベル最高）

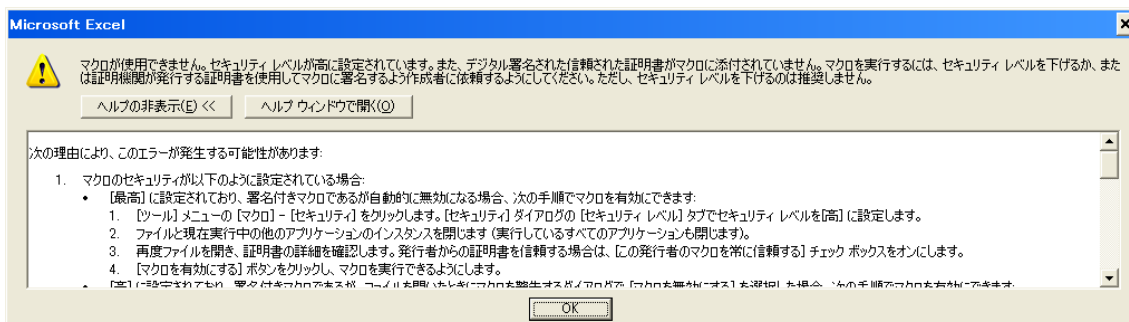


図 4-9 Excel2003 警告（セキュリティレベル高）

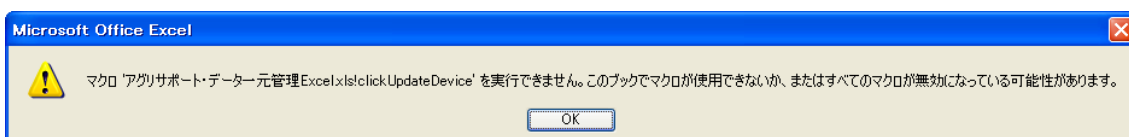


図 4-10 Excel2007 警告例（警告を表示せずに全てのマクロを無効にする）

#### 4.2.1. Office2003 (Excel2003) までのバージョンをご使用の場合

1. 一元管理 Excel を起動し、メニューバー「ツール」内の「マクロ」-「セキュリティ」を選択します。

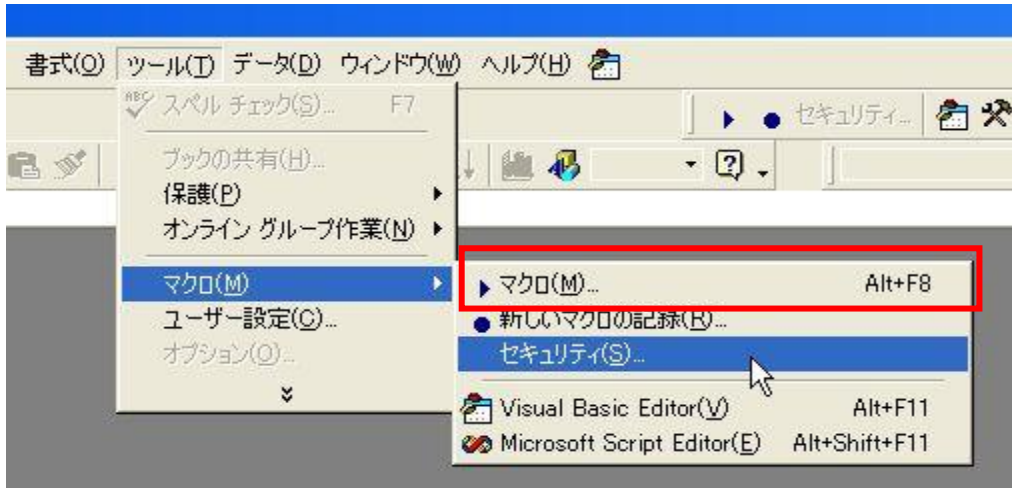


図 4-11 Excel2003 セキュリティ設定

2. 下記のダイアログにおいて、「中」もしくは「低」を選択します。選択後「OK」ボタンをクリックしてください。  
「中」を選択した場合は、常に確認ダイアログが表示されます。  
「低」を選択した場合はセキュリティ警告のダイアログは表示されません。

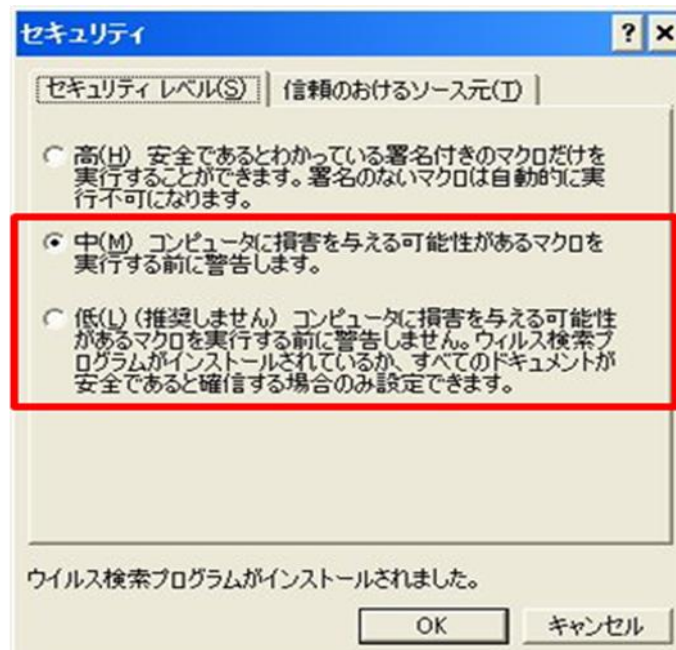


図 4-12 Excel2003 セキュリティレベル設定

3. 一元管理 Excel を終了してください。
4. 一元管理 Excel を起動してください。
5. セキュリティレベル「中」を選択した場合、一元管理 Excel 起動時に下記のダイアログが表示されます。  
このときは”マクロを有効にする”ボタンをクリックして一元管理 Excel を起動してください。

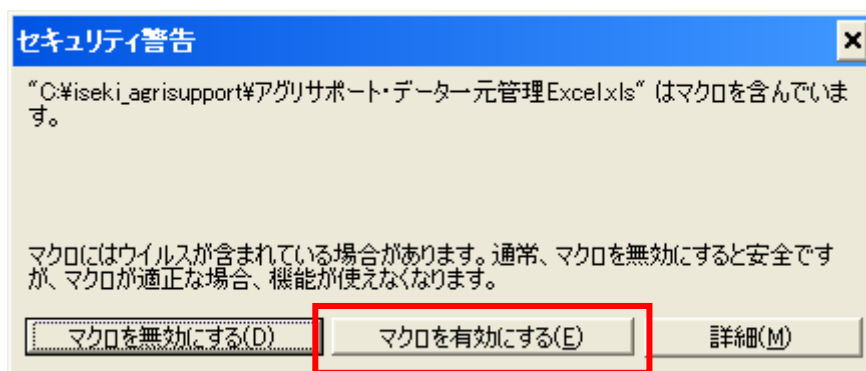


図 4-13 Excel2003 セキュリティ警告ダイアログ

以上でマクロを有効にする操作は終了です。

以降、一元管理 Excel 起動時に”マクロ確認”のダイアログが表示された際は、”マクロを有効にする”ボタンをクリックしてください。

#### 4.2.2. Office2007 (Excel2007)以降のバージョンをご使用の場合

1. Office2007 (Excel2007)で一元管理 Excel を起動し、ウィンドウ左上の” Office” ボタンをクリックし、” Excel のオプション” をクリックしてください。

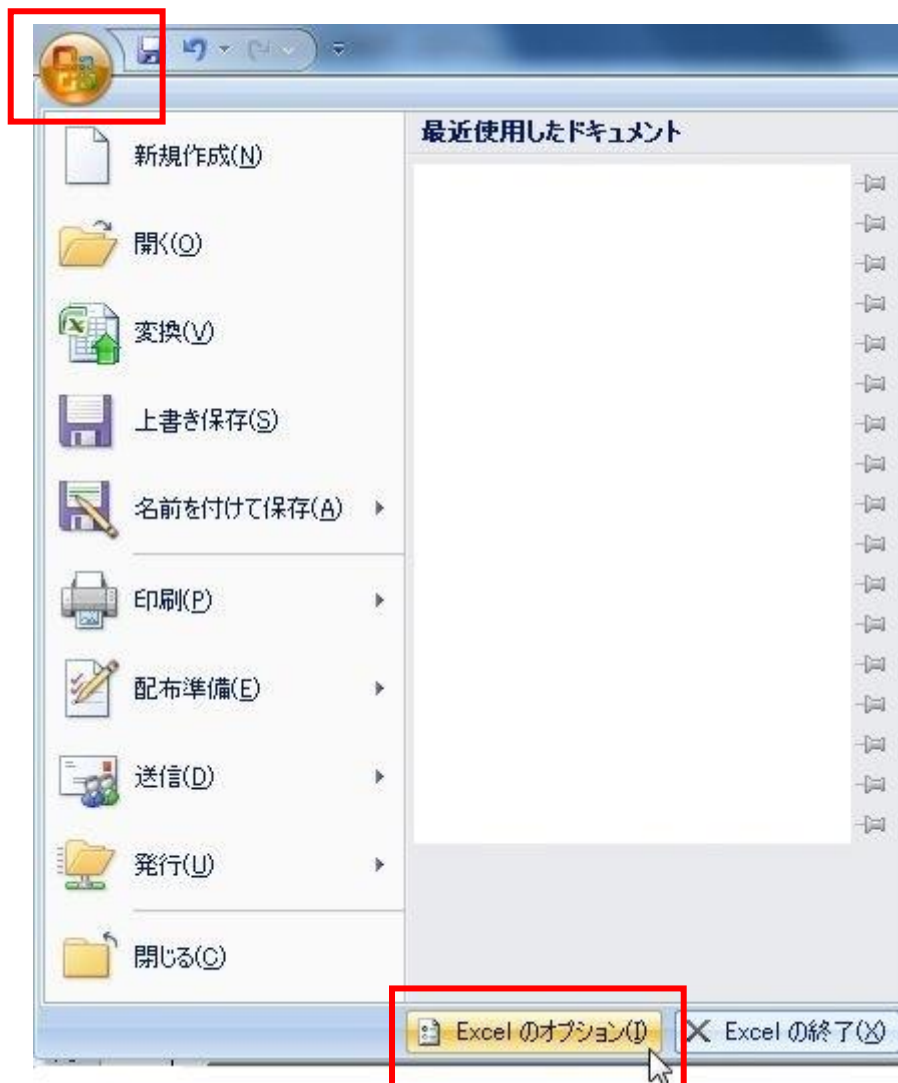


図 4-14 Excel2007 セキュリティレベル変更

- ※ Office2010 (Excel2010) 以降で一元管理 Excel を起動した場合は、ウィンドウ左上の” ファイル” をクリックし、” オプション” をクリックしてください。



図 4-15 Excel2010 セキュリティレベル変更

※以降、手順 2 からは Office2007 (Excel2007) と同様です。

2. "Excel のオプション" から"セキュリティセンター"を選択し、"セキュリティセンターの設定"をクリックします。

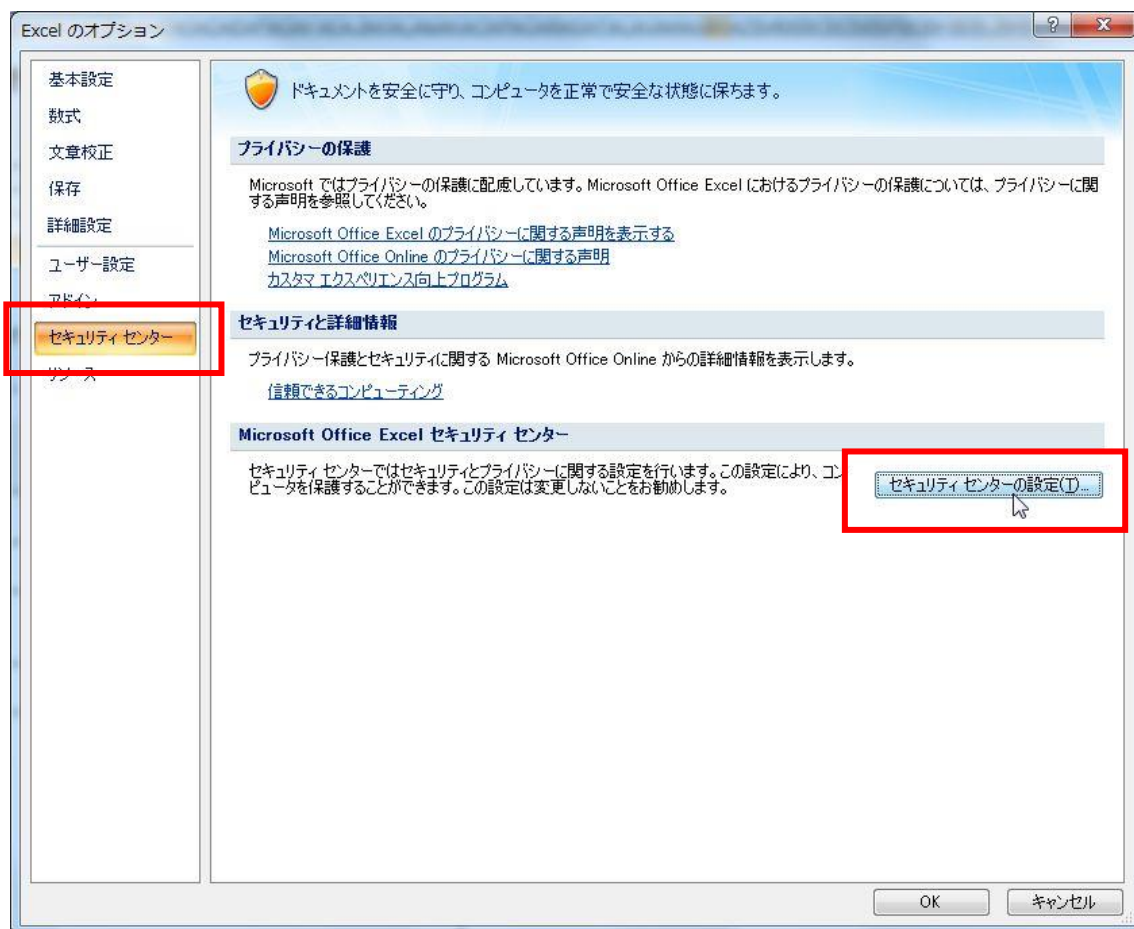


図 4-16 Excel2007 セキュリティレベル変更



3. 「マクロの設定」で「警告を表示してマクロを無効にする」または「すべてのマクロを有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

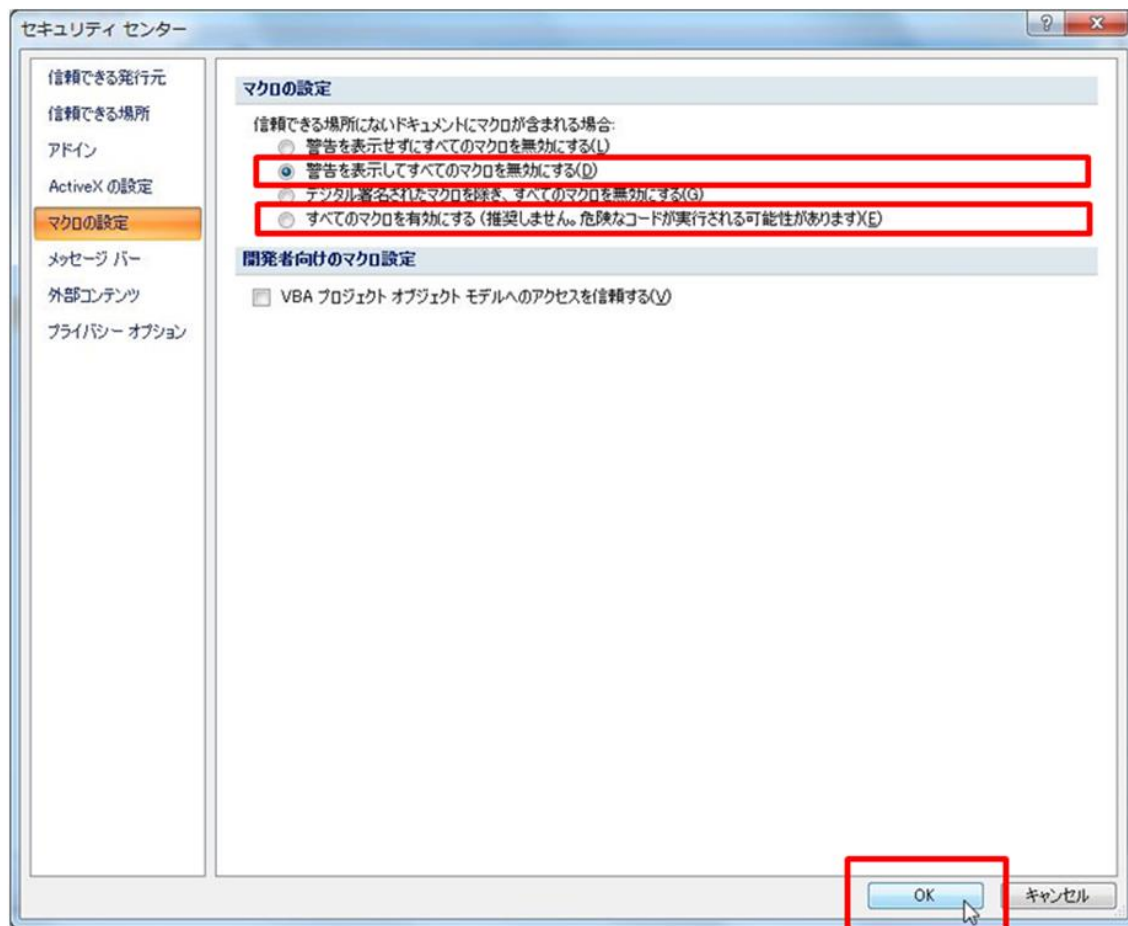


図 4-17 Excel2007 セキュリティレベル変更

4. 一元管理 Excel を終了してください。
5. 一元管理 Excel を起動してください。

6. 「警告を表示してマクロを無効にする」を選択した場合、一元管理 Excel 起動時にメッセージバーに下記のような警告が表示されます。



図 4-18 Excel2007 のセキュリティ警告

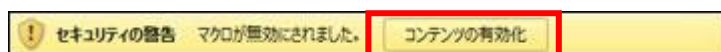


図 4-19 Excel2010 のセキュリティ警告

” オプション…” (“コンテンツの有効化”) をクリックし、セキュリティオプションのダイアログを開き、「このコンテンツを有効にする」を選択し、” OK” ボタンをクリックします。

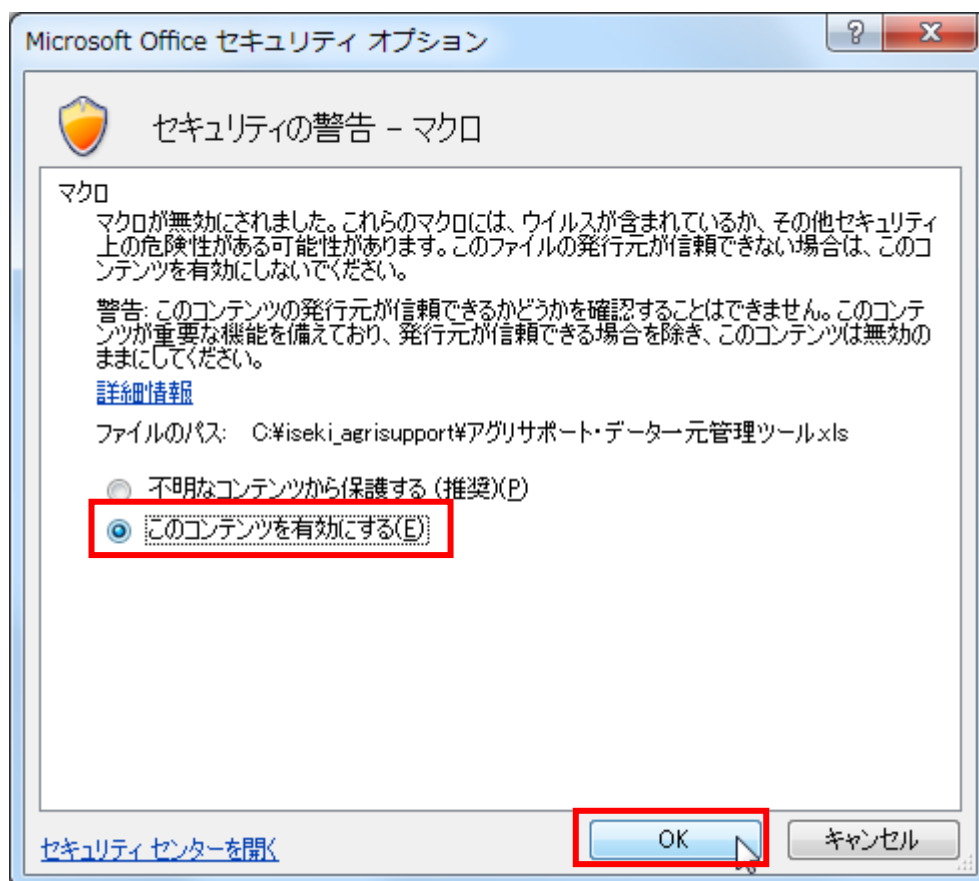


図 4-20 セキュリティオプションのダイアログ

以上でマクロを有効にする操作は終了です。

以降、一元管理 Excel 起動の際、メッセージバーにマクロ関連の警告が表示された際は、上記 6. の操作を行ってください。

#### 4.3. デスクトップにアイコンが表示されない場合

「c:\¥iseki\_agrisupport」内の「アグリサポート・データ一元管理 Excel」をダブルクリックして、一元管理 Excel を起動してください。

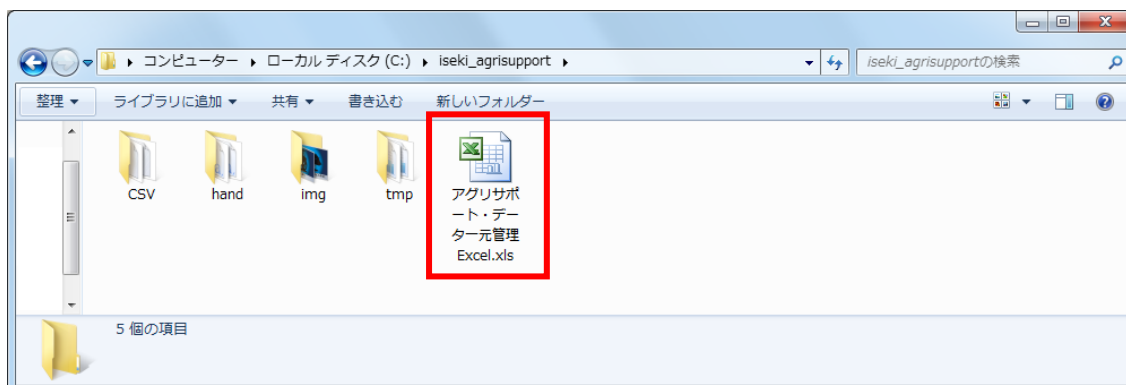


図 4-21 一元管理 Excel のインストール先フォルダ

#### 4.4. アグリサポートと一元管理 Excel のデータが異なる場合

アグリサポートを下記の終了方法で行ってから、一元管理 Excel を起動してください。

[アグリサポートの終了方法]

1. 画面下部の”メニューを開く”ボタンを押してください。



図 4-22 ”メニューを開く”ボタン位置

2. ”トップページ(機械選択)” ボタンを押してください。



図 4-23 ”トップページ(機械選択)” ボタン位置

3. 機械選択画面で”終了” ボタンを押し、終了確認ダイアログによる終了を行ってください。



図 4-24 終了確認ダイアログによる終了

## 第5章. パソコンと端末を新規にご購入された場合

### 5.1. データの移行

パソコンと端末を新規にご購入された場合、引き続き一元管理 Excel をご使用頂くためには、データを移行する必要があります。

1. 新規にご購入されたパソコンに、一元管理 Excel をインストールしてください。

※ 当社ホームページより、再度一元管理 Excel をダウンロードしてインストールしてください。

2. 以前ご使用されていたパソコンの

「c:\¥iseki\_agrisupport」フォルダ内の「CSV」と「data」と「map」の3つのフォルダを、新たにご購入されたパソコンの「c:\¥iseki\_agrisupport」フォルダ内の「CSV」と「data」と「map」の3つのフォルダへ、上書きコピーしてください。

#### コピー元のフォルダ

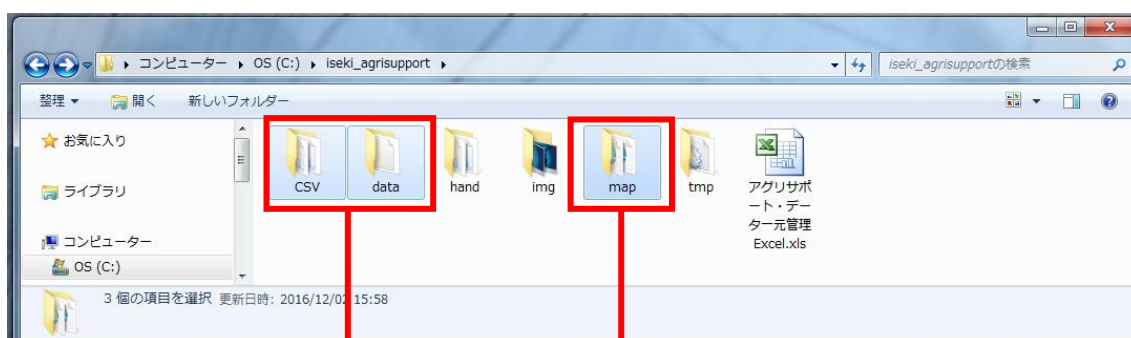


図 5-1 コピー元フォルダ

#### コピー先のフォルダ

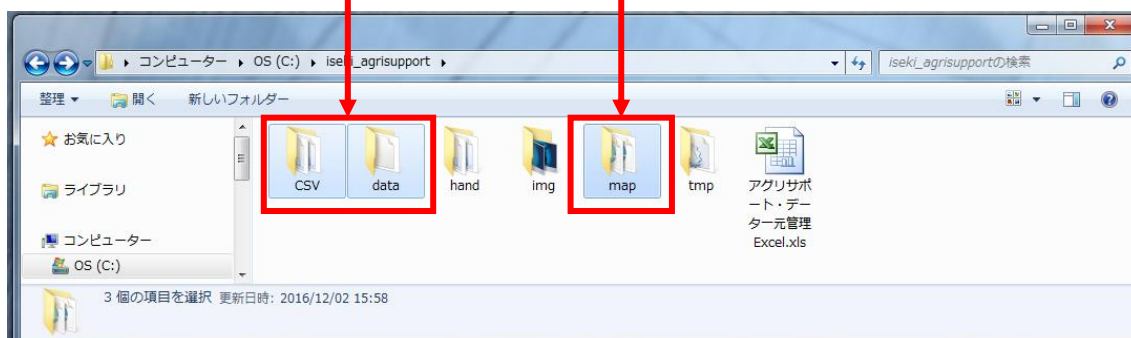


図 5-2 コピー先フォルダ

※ 以前ご使用されていたパソコンから新たにご購入されたパソコンへフォルダをコピーする方法の詳細につきましては、ご使用のパソコンの説明書やパソコンをご購入いただきました販売店様、もしくはパソコンメーカー様へご確認ください。